

古川 寛 ふるかわ ひろし

活動地域：熊本県和水町 支援可能な地域： 全国

現在の所属（役職）：和水町地域おこし協力隊  
九州地域お越し会 会長  
和水町地域づくり団体「なごみらい」 代表

## アドバイザー可能な分野

- ・エリアプランニング
- ・その他 新しい価値観の提案 （地域づくり、農業についてなど）
- ・その他 通販導入支援
- ・その他 地域おこし協力隊支援 （導入、運用）

## 地域での活動

和水町には、以前より9つの地域づくり団体がありましたが、相互の交流もない状態でした。そこで町全体について話し合ったり、活動したりできる団体として和水町地域づくり団体「なごみらい」を設立。月に一度勉強会を実施し、地域づくりについてや町の今とこれからについて話し合いをしています。

- ・和水町地域づくり団体「なごみらい」の新聞「なごみらい通信」の発行

「なごみらい」の活動の報告と勉強会の告知として「なごみらい通信」という新聞を毎月発行しています。また最近は、地域づくりについてのコラムを掲載し、地域づくりについての考え方を掲載しています。

- ・竹を中心とした新サイクルの確立と事業化

竹加工業者と農業従者と組み、竹の加工の際に出る竹の粉を原料とした土壌改良材を作成しました。また、その延長として、土壌改良剤を作るだけでなく、町内の荒廃竹林問題の解決になるよう、事業プランを作成、現在、新規起業に向けて準備中。まだ途中ではありますが、プラン内には、町内の地域づくり団体に竹の伐採を依頼し、それを原料に製品を作り、またそこで出た粉で土壌改良剤を作るという、地域づくり団体との連携も盛り込んでいます。その他、その土壌改良剤を使った農作物のブランド化も検討しています。竹林が整備されれば、良質の筍が立つようになるため、地域農家の方の収入増にもつながると思います。このような竹を中心とした新しいサイクルを生み出すプランを実行していく予定です。

- ・オリーブ研究会補助など

町内の農家の方を中心としたオリーブ研究会の企画など。農家の方が会長なので、そのサポートと実際にオリーブを育てている会員の補助になる企画立案などに携わっています。

- ・九州地域お越し会の設立と運営

九州の地域おこし協力隊の連携を目的とした九州地域お越し会を設立。交流会や勉強会を実施し、各々の抱える問題の解決の糸口を探る会を実施しています。また、2014年には会の規約を作成し、任意団体として立ち上げました。任意団体にすることで名前だけの団体ではなく、活動を伴う団体になったと思います。

今後は各種研修会の実施や協力隊の支援などの活動を計画しています。

- ・ローカル物産展の立ち上げ

協力隊の任地のいいものを販売するサイト「ローカル物産展」を立ち上げました。協力隊ならではの目線を活かした通販事業を行います。地域生産者が儲かることが大前提なので、利益を上げる構造にはなっておりませんが、十分に運営できる設計になっているところがポイントです。今後少しずつ掲載商品を増やし、メディアなどにも宣伝していく予定です。

### 自己PR 得意分野やアドバイザーの抱負

- ・通販と広告の知識

前職で通販専門の広告代理店に勤めていたので、通販業界の知識及び広告業界の知識を持っています。また、通販のコンサルティングを行う企業と連携しておりましたので、通販の仕組みや運営方法などについても理解しています。

- ・アイデア力

状況を把握し、そこにあるもの+αのアイデアを生み出す能力には自信があります。既成概念を意識しつつ、とらわれない柔軟な思考が可能なので、現実味のある企画の創出ができると自負しています。

- ・協力隊支援

九州地域お越し会の会長をしていることもあり、行政、協力隊、双方の事情、情報を理解しています。それを活用し、双方の支援に役立てることができると考えます。

### 抱負

地域の問題と向き合う人は少なからず孤立するケースが見受けられます。そういう人と理解し合い、その人がより活きるアイデアを考案し、その人や周りの人、その地域が楽しく過ごせるようにしていきたいです。そのために持てる能力を最大限に発揮したいと思っています。

「must」の地域づくりから「will」の地域づくりへ。関わる人、みんなが楽しめる地域づくりを提案していきたいと思っています。